

平成 18 年 度

決 算 報 告 書

第 3 期

自 平成 18 年 4 月 1 日

至 平成 19 年 3 月 31 日

国立大学法人 名古屋大学

平成18年度 決算報告書

国立大学法人 名古屋大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入	78,149	84,932	6,783	
運営費交付金	36,425	36,434	9	(注1)
施設整備費補助金	2,702	2,711	9	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	102	422	320	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	89	89	0	
自己収入	28,812	31,231	2,419	
授業料、入学金及び検定料収入	9,334	9,334	0	
附属病院収入	19,063	21,316	2,253	(注4)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	415	581	166	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,423	9,180	3,757	(注6)
長期借入金収入	4,196	4,196	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	3	3	(注7)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	400	666	266	(注8)
計	78,149	84,932	6,783	
支出	78,149	82,451	4,302	
業務費	56,792	58,191	1,399	
教育研究経費	39,476	38,525	951	(注9)
診療経費	17,316	19,666	2,350	(注10)
一般管理費	4,685	3,994	691	(注11)
施設整備費	6,987	6,996	9	(注12)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	102	422	320	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,423	8,741	3,318	(注14)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	4,160	4,107	53	(注15)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	78,149	82,451	4,302	
収入 - 支出	0	2,481	2,481	

予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、前年度繰越分に係る執行計画の見直しにより、予算額に比して決算額が9百万円多額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、予算の段階では予定していなかった国からの施設整備費補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が9百万円多額となっております。

(注3) 補助金等収入については、予算の段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が320百万円多額となっております。

- (注4) 附属病院収入については、患者数及び手術件数の増等により、予算額に比して決算額が2,253百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、機器等使用料などの増収により、予算額に比して決算額が166百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び寄附金の受入れ増等により、予算額に比して決算額が3,757百万円多額となっております。
- (注7) 承継剰余金については、予算の段階では予定していなかった国からの承継剰余金の使用により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、執行計画の見直しにより、予算額に比して決算額が266百万円多額となっております。
- (注9) 教育研究経費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が951百万円少額となっております。
- (注10) 診療経費については、患者数及び手術件数の増等に伴う診療費用の増により、予算額に比して決算額が2,350百万円多額となっております。
- (注11) 一般管理費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が691百万円少額となっております。
- (注12) (注2) に示した理由により予算額に比して決算額が9百万円多額となっております。
- (注13) (注3) に示した理由により予算額に比して決算額が320百万円多額となっております。
- (注14) (注6) に示した理由により予算額に比して決算額が3,318百万円多額となっております。
- (注15) 長期借入金償還金については、借入時期を遅らせたことにより、予算額に比して決算額が53百万円少額となっております。